

## ラオス語のアスペクトマーカークamlánについて

ホーラーヌパーブ・シースダー

### A Study of the Aspectual Marker kamlán in Lao Language

HOLANOUPHAB Sisouda

#### Abstract

This paper investigates the semantic variations of the Lao aspectual marker kamlán. The study focuses on how the meaning of kamlán is correlated with the lexical semantics of the verb. Specifically, when kamlán co-occurs with dynamic verbs, it primarily denotes the continuation of an action, indicating the progressive aspect. In contrast, when kamlán co-occurs with static verbs, it predominantly conveys a temporary state. By examining the semantic distinctions of kamlán in different verb contexts, this paper aims to enrich the existing knowledge of Lao language's aspectual system.

キーワード：ラオス語 アスペクト kamlán 動作の継続 一時的状態

#### 1. はじめに

ラオス語は孤立語であり、動詞の語形変化がなく、アスペクトを表すためには動詞の前後にアスペクトマーカークamlánが使われる。例えば、動詞句の後に「lɛ̀w」が置かれると動作の完了を表し、動詞句の前に「kamlán」が置かれると動作の継続を表すのである。しかし、それらのアスペクトマーカークamlánはロシア語などのように文法範疇として強制的に使われるものではなく、あくまでも任意的な有標形式と言えよう。

アスペクトマーカークamlánは任意的といっても、アスペクト的な意味を明示的に表すためには、アスペクトマーカークamlánが不可欠である。そして、完了には「～lɛ̀w」（例1）、継続には「kamlán」「kamlán～yuu」「～yuu」（例2）といったアスペクトマーカークamlánが使われる。

- 1 khòy kin khàw lɛɛw  
私 食べる ご飯 PRF  
私はご飯を食べました。(完了)
- 2 khòy kamlán hían phasáa lao (yuu)  
(khòy (kamlán) hían phasáa lao yuu)  
1SG.P PROG 勉強する 語 ラオス CONT
- a. (最近) 私はラオス語を勉強している。(習慣)
- b. (今) 私はラオス語を勉強している。(進行)

継続を表すアスペクトマーカークには3つの形式があり、それらは習慣や進行も表すことができる。本研究は、このうち、継続を表す「kamlán」をとりあげ、そのアスペクト的な意味を記述する。以下にあげる用例は、筆者の作例あるいはラオス語の小説・チャットデータなどからの実例である。

## 2. 先行研究

ラオス語の全体の文法をとりあげた研究は少なく、アスペクトマーカークamlánを中心に研究したのも限られる。また、Pingsham 他(2000)『ໄລຍາກອນລາວ (ラオス語の文法)』や Boualy 他(2005)の『ພາສາລາວສຳລັບຄົນຕ່າງປະເທດ (外国人のためのラオス語)』は、kamlánがアスペクトではなく、現在のテンスを表すとしている。

それに対して、Enfield (2008:209-210) は以下のように、kamlánがもともと名詞として「強さ」「力」を意味し、それが動詞の前に置かれると、「(V)-ingの過程にあること」を意味するとし、他の出来事との時間的な関係(タクシス的な関係)についても言及している。また、kamlánは状態動詞あるいは形容詞と共起することがあり、それは状態の「transience (一時性)」あるいは「currentness (現在性)」を強調する機能とされる。

As a noun, *kamlang2* refers to ‘strength’ or ‘power’. As a preverbal operator, *kamlang2* means ‘to be in the process of (V)-ing’. It does not occur often in texts, and is limited to situations in which the ongoing or extended nature of the action is critical to the current framing of discourse. Typically, this is when a speaker wants to portray one event as extended over time in order to use it as a temporal frame within which a second event is contained. (….) Sometimes *kamlang2* may also be used with stative verbs or adjectives. This functions to highlight the transience or ‘currentness’ of the state.

このように kamlán の意味・用法はある程度明らかになっているが、アスペクト的な意味は十分に研究されているとは言えない。そのため、本研究では、動詞の違いによって kamlán はどのような意味の違い(バリエント)が生じてくるかをより詳しく検討する。

### 3. kamlán のバリエント

#### 3.1 名詞としての意味

kamlán は、もともとは、名詞として「力」という意味を表す単語である（例 3-4）。また、「軍隊」という意味もある（例 5）。

- 3 khòy bəw təp mán phánpáam súm thúk kamlán khəwŋ  
 ISG.P NEG 答える それ 頑張る 集中する 全て 力 の  
 pasəat hūu khəw say náy kǎan fəŋ sɔŋ pǎa khúu tɛ  
 神経 耳 入る に こと 聞く 声 先生 しかし  
 kəw bəw sǎmlet  
 C.LINK NEG 成功する

私はそれには答えず、聴覚神経の全ての力で先生の声を聞くことに集中したが、できなかった。（Hoyphayanak）

- 4 thəw khúu phəw nəŋ hɛw laláa tɛ kamlán wáŋsáa náj  
 年寄り のような 父 肌 シワ だけ しかし 力 力 まだ  
 khɛŋ hɛŋ yuu  
 元気 CONT

私（父）のような年寄り、シワは出てきたけど、まだまだ元気で力があるよ。（SinxaykapIphone）

- 5 kamlán faay khàa sək phuu húk háan bəw lət la? thii ca  
 軍隊 側 敵 侵入者 NEG 緩む（関係代名詞） IRR  
 ?aw sána hây dâw  
 勝てる できるように

侵入者である敵の軍隊は、攻撃の手を緩めなかった。（Hoyphayanak）

#### 3.2 アスペクトマーカとしての意味

kamlán は、動詞の前に置かれると、進行あるいは継続を表すアスペクトマーカとなる（例 6）。

- 6 ?ùay kamlán ?aan pùm  
 姉 PROG 読む 本

姉が本を読んでいる。（作例）

Enfield（2008）でも指摘されていたが、kamlán は、二つの出来事が同時に起こったときによく使われている。次の例 7-8 のように、kamlán は継続を表し、それと同時的な出来事が前後の文に表されている。

- 7 *léɲ wansăw ăathit lêw nî, khanathii khàaphachão kamlánj ʔaan*  
 夕方 土曜日 先週 とき 1SG.P PROG 読む  
*púm “hōy pīi hɛɲ kuwám dōt diaw” yuu tóʔ hīn hom*  
 本 百年 の 孤独 で テーブル 石 下  
*kók màak khām khàaɲ húan sǎɲ mɛɛ châw húan dâj*  
 木 タマリンド 隣 家 声 奥さん ACHV  
*dǎɲ dooɲ máa tɛɛ pɔɔɲyám húan máa say*  
 (声が) する ONOM から 窓 家 DIR に  
 先週の土曜日の夕方、わたくしが家の隣にあるタマリンドの木の下の石テー  
 ブルで「百年の孤独」を読んでいるとき、家の窓から奥さんの声が聞こえた。  
 (Homleuangkom)

- 8 *múu nân khàaphachão náj cuu dâj dīi mɛɛn duan 4 pīi 1978*  
 その日 1SG.P まだ 覚える よく COP 4月 1978年  
*kamlánj naɲ tɛɛm húp yuu tóʔ... phən ɲaɲ kháatlát khàw*  
 PROG 座る 描く 絵 で テーブル 彼 歩く ONOM 入る  
*máa... míi khám saɲ háj pǎy het wíak duan*  
 DIR ある 指示 させる 行く する 仕事 緊急  
 その日は、わたくしがまだよく覚えている 1978年4月のことだった。テー  
 ブルで絵を描いているとき、彼が入ってきて、緊急の仕事をしに行くように指  
 示があった。  
 (Homleuangkom)

### 3.2.1 動態動詞 (Dynamic verb) との共起

動態動詞 (Dynamic verb) は、動的な動作を表す動詞である。動態動詞は、過程を表す動作動詞 (Process verb)<sup>1)</sup> と、一定の長さを持つ過程を表さない変化動詞 (Event verb)<sup>2)</sup> に下位分類することができる。この動詞グループは *kamlánj* と共起すると、以下のような意味になる。

#### 3.2.1.1 動作動詞 (Process verb)

##### ・動作の継続

*kamlánj* は、動作動詞と共起すると、動作の継続を表す。動作動詞には、非限界動詞と限界動詞があるが、非限界動詞 (限界を持たない動作動詞) は、明示的な終点がないため *kamlánj* と共起すると、終点がない動作の継続を表す。以下の例 9-10 の「*toɔ lóɔɲ* (交渉する)、*kín* (食べる)」は非限界動詞であり、*kamlánj* が動作の継続を表している。

<sup>1)</sup> 金田一 (1950) の「継続動詞」および、Vendler (1967) の「活動動詞 (Activity)」に相当する。

<sup>2)</sup> 金田一 (1950) の「瞬間動詞」および、Vendler (1967) の「到達動詞 (Achievement)」に相当する。

- 9 mua máa hōt khíw phùu yuu tō nàr pō thii mí  
 とき DIR 着く 列 人 で 前 父親（関係代名詞）ある  
 déknōy 5 khón kō? khàaŋ yuu nân, kō hēn waa khón  
 子供 5人 掴む そば CONT その T.LNK 見える と 人  
 phùu nân pen sáy haan jay say khuaŋ bō may  
 人 その COP 男 体 大きい 着る 服 NEG 新しい  
 paan dāy kamlán tō lōŋ káp khón khāy pii  
 あまり PROG 交渉する と 人 売る チケット  
 5人の子供がまとわりついている父親の前にいる人の番になったが、その人は  
 あまり新しくない服を着た大きい男であった。（彼は）チケットの販売員と交  
 渉していた。（Homleuangkom）

10 A : kīn khàw léŋ la? wāa?  
 食べる ご飯 夕方 QPLR

B : kamlán kīn sīindāt  
 PROG 食べる 焼肉

A : 夕飯を食べた？

B : 焼肉を食べている。（チャット）

次の例 11-12 は、同じく非限界動詞と共起している例だが、上記の例のような具体的な動作の進行ではなく、長い期間にわたる動作（長期的な動作）の継続が kamlán で表されている。

- 11 duan pī mūn pāy khōy kō tōp jay kāy pēn numnōy  
 月 年 回る DIR 1SG.P C.LNK 成長する なる COP 青年る  
 lêw le? kamlán súksāa náy pī sūt thāy khōŋ sīwit nak hían  
 PRF そして PROG 勉強する 中 年 最終 の 人生 学生  
 matthapom  
 高校

時間が経って、私は青年となり、高校最後の学年で勉強をしている。

（SinxaykapIphone）

- 12（足の治療についての話）

kamlán thotlōŋ thuk yaan. mūu léŋ si? lōŋ yoga  
 PROG 試す 全て 今晚 IRR 試す ヨガ

（私は）あらゆるものを試している。今晚はヨガをやってみる。（チャット）

・限界へ向かう動作の継続

次に、限界動詞（限界を持つ動作動詞）と共起しているものを見ていこう。この動詞は、動作に明示的な終点があるため、kamlán と共起すると、その終点へ向かう動作

の継続を表す。例 13-15 の「*pěŋ* (修理する)、*kɔɔm* (寝かせる)、*kùat sòɔp* (チェックする)」は限界動詞であり、*kamlánj* が限界へ向かう過程を表している。

13 *khǎw kamlánj pěŋ húan kaw*  
 1SG PROG 修理する 家 古い  
 私は古い家を修理している。 (チャット)

14 *Nom papa kamlánj kɔɔm*  
 ノム 父親 PROG 寝かせる  
 ノムちゃんは父親が寝かせている。 (チャット)

15 *sòok dīi thii hòŋnám bɔɔ khɔɔy mí khón mí phiáŋ mɛɛ jínj*  
 幸い (関係代名詞) トイレ NEG あまり ある 人 だけ 女性  
*khón nuŋ kamlánj kùat sòɔp khuwáam pen la biep hiáp hɔɔy khɔɔŋ tɔn*  
 人 一 PROG チェックする 整頓 の 自分  
 幸いなことに、トイレには人があまりおらず、一人の女性が自分の姿をチェックしているだけだった。 (Homleuangkom)

動作の限界は、限界動詞・非限界動詞のように、動詞の語彙的な意味によって表される限界だけでなく、文脈によって表される限界もある。例えば、「*pây* (行く)、*máa* (来る)、*lónj* (降りる)」などのような移動を表す動作動詞<sup>3)</sup>は、移動の目的地への到達が文脈で示されれば、限界的な動作となり、例 16-18 のように、*kamlánj* が目的地という限界へ向かう過程の継続を表すようになる。

16 *tɔɔn nīi kamlánj pây Shinjuku, wán kəət ʔaacáan wada*  
 今 PROG 行く 新宿 誕生日 先生 和田  
 和田先生の誕生日会で、今新宿に行きつつある (向かっている)。 (チャット)

17 (医者が子供を迎えに行くように頼まれた。)  
*khón cép kamlánj máa thàa pây tɔɔn nīi dāy yuu*  
 患者 PROG 来る もし 行く 今 できる SFP  
 お客さんが来ているの (向かってくる)。もし今すぐならいいけど。 (チャット)

18 A : *hòt sǎy lēew?*  
 着く どこ PRF

B : *kamlánj lónj phúu*  
 PROG 降りる 山

A : どこまで着いた? (どこにいる?)

B : 山を降りているところ。(山の麓へ降りている過程) (チャット)

このように、*kamlánj* は、動作動詞と共に起する場合、限界動詞でも非限界動詞でも、

<sup>3)</sup> ラオス語では、移動を表す動詞が過程を表すため動作動詞と分類することができる。

動作の継続を表す。また、具体的な動作だけでなく、長い期間にわたる動作を表すこともできる。

### 3.2.1.2 変化動詞 (Event verbs)

変化動詞は、動作動詞のような一定の長さを持つ過程を持たず、瞬間的に実現する限界を表している。ラオス語の動詞は、通常、無標形式で習慣や恒常的な真理を表す(例 19)が、変化動詞の無標形式は、限界に到達したあとの結果的な状態<sup>4)</sup>を表す場合もある(例 20)。

19 méew tǎay pho? lôok kapho? lúay lúay

猫 死ぬ から 病気 胃 よく

猫はよく胃の病気で死ぬ。

(作例)

20 méew tǎay

猫 死ぬ

猫が死んでいる。

(作例)

#### ・限界に近づきつつある段階

明確な結果を持つ変化動詞(「tǎay (死ぬ)、cóp (終わる)」など)と共にすると、kamlán は限界に到達する前の段階の一時的な継続を表す。これは、上に述べたような動作の継続と異なり、限界に近づきつつある過程の段階である。例 21 では、kamlán が「tǎay (死ぬ)」という動詞が共起して、「tǎay (死ぬ)」という出来事が、その限界に近づきつつある段階を表している。

21 méew kamlán tǎay

猫 PROG 死ぬ

猫が死につつある。(もうすぐ死ぬ)

(作例)

例 22-24 も、「cóp (終わる)、hót (到着する)、lôak (終わる)」という変化動詞が kamlán と共起して、限界にまだ到達していないが、それに近づきつつある段階を表している。

22 nǎj kamlán cóp

映画 PROG 終わる

23 映画が終わりつつある。(映画がもうすぐ終わる)。

(チャット)

kūu kamlán hót Shinjuku

1SG PROG 到着する 新宿

私は新宿に到着しつつある。(新宿にもうすぐ到着する)。

(チャット)

24 ʔaacǎan kamlán lôak lúam

先生 PROG 終わる 会議

<sup>4)</sup> パーフェクトの意味を明確にする場合、完了を表すアスペクトマーカー「lêew」が使われる。

先生は会議を終えつつある（会議がもうすぐ終わる）。（チャット）

・限界に到達したあとの一時的な維持

また、限界到達した後の結果が明確ではない変化動詞（「wáaŋ（置く）、yúuun（提出する）」など）と共起すると、kamlán は、限界に到達したあとの状態の一時的な維持、あるいは、結果の一時的な維持を表す。例 25 は、kamlán が「wáaŋ（置く）」と共起し、その動作の限界に到達した後の「show（展示する）」という結果の一時的な維持を表している。

25（個人ブランドのカバンを作っている友達の話）

A : Han cá? ?ǎw kapǎw pây khǎay?  
ハン IRR 取る 鞆 DIR 売る

B : kamlán wáaŋ show yuu Marui Shinjuku  
PROG 置く 展示する で マルイ 新宿

A : ハンさんはカバンを売るのが？

B : (カバンはもう) 新宿マルイに置いている（展示している）。（チャット）

次の例 26-27 のように、「soŋ（送る）、yúuun（提出する）」という変化動詞の前に kamlán が置かれると、限界に到達したあとの一時的な状態が表される。例 26 は、「soŋ（送る）」という動作が限界に到達したが、反応や返事などのような結果がまだ出ていない。その結果が実現するまでの、送った状態（連絡中）の一時的な維持が表されているのである。例 27 も同じように、「yúuun（提出する）」という動作が限界到達したが、手続きは、まだ完了しておらず、手続きが完了するまでの、提出した状態（手続き中）の一時的な維持が表されている。

26 A : múŋ soŋ hǎa mán du  
2SG 送る に 彼 ください

B : kamlán soŋ  
PROG 送る

A : 彼に（メッセージを）送って。

B : いま送っている（連絡中）。（チャット）

27（病院で健康診断を受けているとき）

kamlán yúuun bát  
PROG 提出する カード

(私は) カードを提出している（手続き中）。（チャット）

・限界に到達したあとの進展的な状態変化

量的な変化を表す変化動詞と共起すると、kamlán は、限界に到達したあとの状態変化がさらに進展していることを表す。例 28 は、kamlán が「poŋ（芽生える）」と共起

すると、限界に到達した後もその状態変化がさらに進展していることを表す。

28 (ガーデニングをしている友達からのチャット)

hǒm lâap kamlán poŋ diaw káp pây hây  
 ミント PROG 芽生える あと 拾う DIR あげる

ミントが芽生えている(芽生え続けている)。あとでとってあげるよ。

(チャット)

次の例29も、kamlánが「phəəm khùn(増える)」と共に、その量的な変化がさらに進展していることを表している。つまり、感染者がどんどん増えていることを表しているのである。

29 phùu tit súa COVID-19 kamlán phəəm khùn

感染者 COVID-19 PROG 増える

COVID-19の感染者が(どんどん)増えている。

(ニュース)

なお、以下の例30は、kamlánが「bǎan(咲く)」と共に起しているが、「tem tii(完全に)」のような極限を表す副詞を伴っているので、出来事の進展を表せず、限界に到達した「bǎan(咲く)」の一時的な結果の状態を表している。

30 dǒk sakura kamlán bǎan tēm thiŋ nǎam lǎay

花 桜 PROG 咲く 完全に 綺麗 とても

桜が完全に咲いている(満開になっている)。とても綺麗だった。(チャット)

### 3.2.2 静態動詞(Static verb)との共起

ラオス語において、kamlánと共に起する静態動詞としては、恒常的な特性や状態を表す状態動詞があるが、次のような特性や状態を表す形容詞や名詞も、述語になる場合(例31、例32) kamlánと共に起する。

31 ʔaahǎan nǐ sēp

料理 この 美味しい

この料理は美味しい。

(作例)

32 khòy ʔaapu? 28 pi

1SG.P 年齢 28 歳

私は28歳です。

(作例)

これらは kamlánと共に起すると、以下のような意味になる。

#### 3.2.2.1 形容詞述語

##### ・一時的な状態

kamlánが、物事の特性・性質を表す形容詞と共に起すると、その特性をある期間内に限定することになり、一時的な状態を表すようになる。

例33と例34を比べてみれば分かるが、kamlánの有無によって「thǔuk(安い)」の意味が違ってくるのである。kamlánがついていない例33は、「thǔuk(安い)」

という、その店のビールの恒常的な特性を表している。それに対して、例 34 は、*kamlánj* が「*thuúuk* (安い)」の前に置かれることによって、その特性が一時的なものになってしまう。つまり、発話時においてビールは安くなっているが、その後（ハッピーアワーが終わったあと）は安くなるということを含意しているのである。

33 *hân nǐ bǐa thuúuk*

店 DEM ビール 安い

この店はビールが安い。

(作例)

34 (居酒屋のハッピーアワーのとき、友達に連絡する。)

*máa dóó. bǐa kamlánj thuúuk*

来る IMP ビール PROG 安い

きてね。(今) ビールが安くなっているよ。(一時的)

(チャット)

次の例 35-37 も、例 34 と同じく、「*lǎay* (多い)、*ǰáam* (美しい)、*mid* (静か)」のような形容詞が *kamlánj* と共起すると、その特性がある期間内に一時的に実現することを意味する。つまり、時間が経ったらその特性が変わっていくという含意がある。

35 (飲み会に遅れている友達に連絡する。)

*máa wáy dóó. khǎw thǎam haa léew pho? waa dǎy tɛɛ*  
来る 早く IMP 彼 尋ねる に PRF ので 得る だけ

*2 sua móonj khón kamlánj lǎay*

2 時間 人 PROG 多い

早くきて。人が多くなっている (一時的) から 2 時間制限となって、「(他の方はまだいらっしゃらないですか?)」と店員さんに聞かれている。

(チャット)

36 *dóok kháay kamlánj ǰáam*

桃の花 PROG 美しい

(今は) 桃の花が美しくなっている。(一時的)

(チャット)

37 (台風の状態についての話)

*tǔn nǐ kamlánj mit. kiinǐ héɛj tǔn nǐ mit khúuu si? meen*  
今 PROG 静か 先 強い 今 静か 多分 COP

*yuu náy tǎa mán*

に 中 目 それ

今静かになっている (一時的)。少し前は強かったが、今は静かだ。多分台風の目の中にいるのだろう。

(チャット)

### ・ある状態への変化の進行

自然な成長のような変化の結果を表す「*ǰay* (大きい)、*súunj* (高い)」などのような形容詞が、*kamlánj* と共起すると、形容詞の表す状態へいたるまでの変化の進行を表

す。これも *kamlánj* の有無によって意味が違ってくるのだが、例 38 は「*jay* (大きい)」が木の特性を表すのに対して、例 39 は「*jay* (大きい)」の前に *kamlánj* が置かれて、その状態への変化が進行していることを表している。これは、小さい木がどんどん大きくなっているとも、大きい木がこれからさらにどんどん大きくなっているとも解釈できる。

38 *tôn mây* ***jay***

木 大きい

木が大きい。

(作例)

39 *tôn mây* ***kamlánj*** *jay*

木 PROG 大きい

木が(どんどん) 大きくなっている。(成長している)

(作例)

次の例 40 も例 39 と同じく、*kamlánj* が「*sũuj* (高い)」と共起すると、恒常的な特性の意味ではなく、「*sũuj* (高い)」という状態への変化の進行を表す。つまり、今もある程度背が高いが、さらにどんどん高くなっていることを表すのである。

40 *lúuk* ***kamlánj*** *sũuj*

子供 PROG 高い

子供は背が(どんどん) 高くなっている。

(作例)

### 3.2.2.2 名詞述語

また、例 41-42 のように、*kamlánj* は、状態を表す抽象的な名詞述語との共起もある。これも一時的な状態を表している。

41 *màak len* *khòy* ***kamlánj*** *phó dǐi kǐn*

トマト 1SG.P PROG 食べごろ

私のトマトは食べごろです。(一時的)

(会話)

42 (相手の爪に白い部分が出ていることを気づいたとき)

*lep* *lúuk* *míi* *dòok* ***kamlánj*** *sòokdǐi*

爪 2SG.kid ある 花 PROG 幸運

あなたの爪は白い部分<sup>5)</sup>が現われているので、(あなたは) ラッキー (一時的)  
よ。

(チャット)

### 3.2.2.3 状態動詞 (States)

#### ・一時的な状態

*kamlánj* は、恒常的な状態を表す状態動詞（「*hák* (愛する)、*mák* (好き)」など）と共起すると一時的な状態を表す。*kamlánj* の共起によって恒常的な状態の持続期間が限定され、その状態がある期間内に一時的に実現していることを表す。たとえば、*kamlánj* のつかない例 43 は、時間に限定されない「*hák* (愛する)」という心理的な状

<sup>5)</sup> ラオスでは、爪に白い印があると幸運だと言われる。

態を表すのに対して、*kamlánj* が「*hák* (愛する)」の前に置かれた例 44 では、その心理的な状態が一時的なものと解釈される。つまり、彼の愛情はいつか冷めてしまうということを含意することになる。

43 *láaw hák fɛɛn*  
 彼 愛する 彼女  
 彼は彼女を愛している。 (作例)

44 *láaw kamlánj hák fɛɛn*  
 彼 PROG 愛する 彼女  
 彼は (今は) 彼女を愛している。(一時的) (作例)

次の例 45 も、「*sua* (信じる)」という心理的な状態動詞が *kamlánj* と共起して、その状態が一時的であることを表している。つまり、信じている状態がいつか信じない状態になるということを含意することになる。

45 *láaw kamlánj sua luaŋ nii*  
 彼 PROG 信じる こと この  
 彼がこのことを信じている。(一時的) (作例)

#### ・一時的な状態の強調

一時的な状態を表す状態動詞（「*cép* (痛む)、*sia cǎy* (悲しむ)」など）と共起すると、*kamlánj* はその状態の一時性や現在性の強調を表す。例 46-47 を見ると、例 46 の「*cép* (痛い)」という生理的な状態動詞は、一時的な状態を表してはいるが、*kamlánj* と共起する例 47 は、その状態の一時性がより強調されている。

46 *khòy cɛp khǎa*  
 1SG.P 痛い 足  
 足が痛い。 (作例)

47 *khòy kamlánj cɛp khǎa*  
 1SG.P PROG 痛い 足  
 足が痛い。(強調) (作例)

次の例 48 も、*kamlánj* が「*hǐw* (お腹が空く)」のような生理的な状態動詞と共起して、その一時的な状態が強調されることになる。また、文脈から見ると、誘いという場面でもあり、「お腹が空いている」状態をアピールするように *kamlánj* が現在性の強調を表している。

48 *pây kǐn khàw! khòy kamlánj hǐw*  
 行く 食べる ご飯 1SG.P PROG お腹が空く  
 ご飯を食べに行こう！お腹が空いたわ。(強調) (チャット)

例 49-50 も、「*sia cǎy* (悲しむ)、*muan* (楽しむ)」という感情的な状態動詞と共起して、*kamlánj* がその一時的な状態の強調を表している。つまり、悲しんでいる状態や楽しんで

でいる状態がなくなるときがくるといふ含意が強調されるのである。

49 láaw kamlán sia cǎy

彼 PROG 悲しむ

彼は悲しんでいる。

（作例）

50 A : phoo mæe ká? náŋ boo yàak káp ni?

父 母 T.LNK まだ NEG したい 帰る SFP

B : kamlán muan dèe

PROG 楽しむ SFP

A : 両親はまだ帰りたくないって。

B : 楽しんでいるからね。（一時的）

（チャット）

#### 4. まとめ

本研究は、ラオス語のアスペクトマーカ― kamlán の意味のバリエーションについて考察した。ラオス語の kamlán の意味は以下のようにまとめることができる。

- ① kamlán は動態動詞と共起すると主に継続を表す。動作動詞と共起する場合は、動作の継続を表すが、長い期間にわたる動作の継続を表すこともある。また、限界を持つ動作動詞と共起する場合は、限界へ向かう過程の継続を表す。変化動詞と共起する場合は、限界に近づきつつある段階や、限界に到達したあとの一時的な状態や、進展的な状態変化を表す。
- ② kamlán は静態動詞と共起すると主に一時的な状態を表す。形容詞述語も名詞述語も状態動詞も kamlán と共起すると、その特性・状態が一時的なものになるのである。ただし、自然な変化を表す形容詞と共起する場合は、その状態へ向かう変化の進行を表し、感情などのような一時的な状態を表す状態動詞と共起する場合は、一時性をより強調することになる。

#### 参考文献

- 奥田靖雄 (1977) 「アスペクトの研究をめぐって—金田一的段階—」『宮城教育大学国語国文』 8, pp.51-63, 宮城教育大学国語国文学会
- \_\_\_\_\_ (1988) 「時間の表現 (1)」『教育国語』 94 むぎ書房／『奥田著作集 02 言語学編 (1)』所収 むぎ書房
- 金田一春彦 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』 むぎ書房
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト』 ひつじ書房
- \_\_\_\_\_ (2014) 『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』 ひつじ書房
- 鈴木玲子 (2002) 『CD エクスプレス ラオス語』 白水社
- \_\_\_\_\_ (2019) 『ニューエクスプレスプラス ラオス語』 白水社
- \_\_\_\_\_ (2010) 「ラオ語のアスペクト」『語学研究所論集』 15, pp.316 - 321, 東京外国語大学語



P = polite

PROG = progressive

PRF = perfect

SG = singular

SFP = sentence-final particle

T.LNK = topic linker

QPLR = polar question